

2027(令和9)年度

# 大学院学生募集要項

理工学研究科

(修士課程)

(博士後期課程)

経営学研究科

(修士課程)

(博士後期課程)



社会知性の開発をめざす

**石巻専修大学**

## ．．．．．個人情報<sup>の</sup>取扱いについて．．．．．

石巻専修大学（以下、本学）では、個人情報の保護に関する法律を遵守し、個人情報の適正な取扱いおよび最善の管理対策を講じるよう努めております。

入学手続にあたって提出していただいた個人情報は、

- ①入学（入学手続）に関すること
  - ②学籍（学生証交付、学籍管理、休学・復学・退学等の諸手続等）に関すること
  - ③授業運営等（履修相談、履修登録・通知、授業・実習・試験運営、成績処理・通知、修了判定、学位記授与等）に関すること
  - ④各種証明書等の作成・発行に関すること
  - ⑤調査・統計資料の作成に関すること
  - ⑥教育実習等に関すること
  - ⑦教員免許状申請に関すること
  - ⑧学費収納に関すること
  - ⑨学生生活全般の指導・助言、福利厚生および課外活動に関すること
  - ⑩就職支援に関すること
  - ⑪国際交流・留学等各種サービスに関すること
  - ⑫修了後の学籍・成績関係情報の記録保存に関すること
  - ⑬事務所管からの連絡に関すること
- に利用します。

これらの業務を行うにあたっては、一部の業務を本学と機密保持に関する契約を締結した業者に委託し行います。なお、提出していただいた個人情報を必要な範囲において受託業者に提供することがあります。

本学は、原則として、あらかじめ本人の同意を得ることなく、第三者に個人情報を提供することはありません。

ただし、「個人情報の保護に関する法律」に基づき個人情報の開示を求められた場合や、個人の生命、身体または財産の保全上緊急を要する場合は、本人の同意を得ず利用目的以外についても個人情報を開示することがあります。

規定等については、下記の石巻専修大学ホームページに掲載しています。

<https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/privacypolicy.html>

．．．．．

本学に入学する大学院生は、上記の個人情報の取扱いについてご了承いただいたものとさせていただきます。

# 目 次

◆大学院の教育研究上の目的と修了の要件	2
◆アドミッションポリシー	3
◆授与する学位	4
◆社会人履修プログラム	4
◆2027（令和9）年度大学院入学試験日程等	5
◆試験場	5

## I. 理工学研究科 修士課程 博士後期課程

1. 募集する研究科・専攻および人員	6
2. 出願資格	6
3. 出願資格認定	7
4. 出願方法	7
5. 入学志願調書および A～D 票の記入上の注意	8
6. 入学検定料	9
7. 出願書類	9
8. 出願上の注意	10
9. 試験科目・時間および配点	10
10. 試験時間割	11
11. 受験上の注意	12
12. 合格発表	12
13. 入学手続	12
14. 研究指導系	13
15. (参考) 2026年度開講科目および担当教員	13

## II. 経営学研究科 修士課程 博士後期課程

1. 募集する研究科・専攻および人員	18
2. 出願資格	18
3. 出願資格認定	19
4. 出願方法	20
5. 入学志願調書および A～D 票の記入上の注意	20
6. 入学検定料	21
7. 出願書類	21
8. 出願上の注意	22
9. 試験科目・時間および配点	22
10. 試験時間割	23
11. 受験上の注意	24
12. 合格発表	24
13. 入学手続	24
14. 専攻分野・授業科目（2026年度開講科目）	25
15. (参考) 2026年度開講科目および担当教員	26

## III. 共通

学費（参考＝令和8年度現行）	28
貸与奨学生	29
石巻専修大学大学院奨学生	30
国の教育ローン	30
提携学費ローン	30

## 石巻専修大学 21 世紀ビジョン 「社会知性 (Socio-Intelligence) の開発」

### ～社会知性 (Socio-Intelligence) の開発～

社会知性とは「専門的な知識・技術とそれに基づく思考方法を核としながらも、深い人間理解と倫理観を持ち、地球的視野から独創的な発想により主体的に社会の諸課題の解決に取り組んでいける能力」です。

### ◆大学院の教育研究上の目的と修了の要件

本大学院は、本大学の目的および使命に基づき、学術の理論および応用を教授研究し、その精深を究めて、地域ならびに国際社会の発展に寄与することを目的としています。

- 課程 本大学院の課程は、修士課程および博士課程です。
- 年限 修士課程の標準修業年限は 2 年です。  
博士課程の標準修業年限は 5 年ですが、これを前期 2 年および後期 3 年の課程に区分し、前期 2 年の課程を「修士課程」、後期 3 年の課程を「博士後期課程」といいます。
- 目的 修士課程は、広い視野に立って、精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的としています。  
博士後期課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要の高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

各研究科の人材養成に関する目的やその他の教育研究上の目的を、次のとおりとしています。

#### 理工学研究科(修士)

理学および工学ならびにそれらが融合した科学技術分野に対する広い視野と深い知識に基づいて、社会的課題の解決に貢献し得る能力を備え、高度の専門知識および適応力を有する技術者、創造性豊かな優れた研究能力を有する研究者等を養成することを目的とする。

#### 理工学研究科(博士)

理学および工学ならびにそれらが融合した科学技術分野に対する広い視野と深い知識に基づいて、社会的課題の解決に貢献し得る能力を備え、高度の専門知識および適応力を有する技術者、創造性豊かな優れた研究能力を有する研究者等を養成することを目的とする。

#### 経営学研究科(修士)

経営学、会計学および情報学に関する基礎理論の上に、学際的かつ先端的な教育研究を通して、社会的課題の解決に貢献し得る能力を有する地域指導者、高度の専門知識および実践能力を有する高度専門職業人等を養成することを目的とする。

#### 経営学研究科(博士)

経営学、会計学および情報学に関する基礎理論の上に、学際的かつ先端的な教育研究を通して、自立して研究活動を行うことができる創造性豊かな優れた研究能力および教育能力を有する研究教育者を養成することを目的とする。

# アドミッションポリシー

## 理工学研究科 修士課程 物質工学専攻(工学)

物質工学専攻では、基礎から応用に至る幅広い専門知識を備え、当該分野の課題の解決に活用できる技術者の養成を目指す。このような観点から、理工学研究科修士課程の教育研究上の目的を理解し、この方針のもとで教育を受ける基礎学力をもち、専門分野における新しい技術の開発に意欲を持つ人を求めている。

## 理工学研究科 修士課程 生命科学専攻

生命科学専攻では、基礎から応用に至る幅広い専門知識を備え、当該分野の課題の解決に活用できる技術者の養成を目指す。このような観点から、理工学研究科修士課程の教育研究上の目的を理解し、この方針のもとで教育を受ける基礎学力をもち、専門分野における新しい知見の発見に意欲を持つ人を求めている。

## 経営学研究科 修士課程 経営学専攻

経営学研究科修士課程経営学専攻では、基礎から応用に至る幅広い専門知識を備え、社会的課題の解決に貢献し得る実践力のある職業人の養成を目指す。このような観点から、経営学研究科修士課程の教育研究上の目的を理解し、この方針のもとで教育を受ける基礎学力をもち、地域社会や国際社会に貢献する意志を持つ人を求めている。

## 理工学研究科 博士後期課程 物質機能工学専攻

物質機能工学専攻では、研究開発に従事するために必要な専門知識を有し、高度の研究能力をもつ研究開発技術者の養成を目指す。

このような観点から、理工学研究科博士後期課程の教育研究上の目的を理解し、この方針のもとで教育を受ける学力と意欲をもち、専門分野において新しい技術の研究や開発に自ら粘り強く取り組むことができる人を求めている。

## 理工学研究科 博士後期課程 生命環境科学専攻

生命環境科学専攻では、研究開発に従事するために必要な専門知識を有し、高度の研究能力をもつ研究者の養成を目指す。このような観点から、理工学研究科博士後期課程の教育研究上の目的を理解し、この方針のもとで教育を受ける学力と意欲をもち、専門分野において未知の課題を明らかにしようとする研究に自ら粘り強く取り組むことができる人を求めている。

## 経営学研究科 博士後期課程 経営学専攻

経営学研究科博士後期課程経営学専攻では、学際的かつ先端的研究を遂行するために必要な専門知識を有し、高度の研究能力をもつ研究者の養成を目指す。このような観点から、経営学研究科博士後期課程の教育研究上の目的を理解し、この方針のもとで教育を受ける学力と意欲をもち、地域社会や国際社会に貢献し得る先端的研究を行う意志を持つ人を求めている。

○修了要件

研究科	修士課程	博士後期課程
理工学	①修業年限は2年。 ②修得すべき単位は、必須科目10単位を含め30単位以上。 ③演習指導教員の研究指導を受けた上で、学位（修士）論文を提出し、その審査および学力に関する最終試験に合格しなければならない。	①修業年限は3年。 ②修得すべき単位は、必須科目10単位を含め18単位以上。 ③指導教授の研究指導を受けた上で、博士論文の審査および試験に合格しなければならない。
経営学	①修業年限は2年。 ②修得すべき単位は、必須科目12単位を含め32単位以上。 ③演習指導教員の研究指導を受けた上で、学位（修士）論文を提出し、その審査および学力に関する最終試験に合格しなければならない。	①修業年限は3年。 ②修得すべき単位は、必須科目16単位を含め20単位以上。 ③演習指導教員の研究指導を受けた上で、博士論文の審査および試験に合格しなければならない。

○在学年限 本大学院における最長在学年限は、修士課程にあつては4年、博士後期課程にあつては6年としています。

◆授与する学位

本大学において、各研究科の課程修了の認定を得た者には、次の学位を授与します。

研究科	専攻	学位	
		修士	博士後期
理工学	物質工学	修士（工学）	—
	生命科学	修士（理学）	—
	物質機能工学	—	博士（工学）
	生命環境科学	—	博士（理学）
経営学	経営学	修士（経営学）	—
	経営学	—	博士（経営学）

◆社会人履修プログラム

本学には社会人を対象とした社会人入学試験制度があります。この制度では、社会人が就労しながらでも学修できる様に、各人の就労状況等から講義等の授業時間を考慮する「社会人履修プログラム」が含まれています。受講日等は、入学後の履修登録時に指導教員と調整の上、確定いたします。

## ◆ 2027(令和9)年度 大学院入学試験日程等

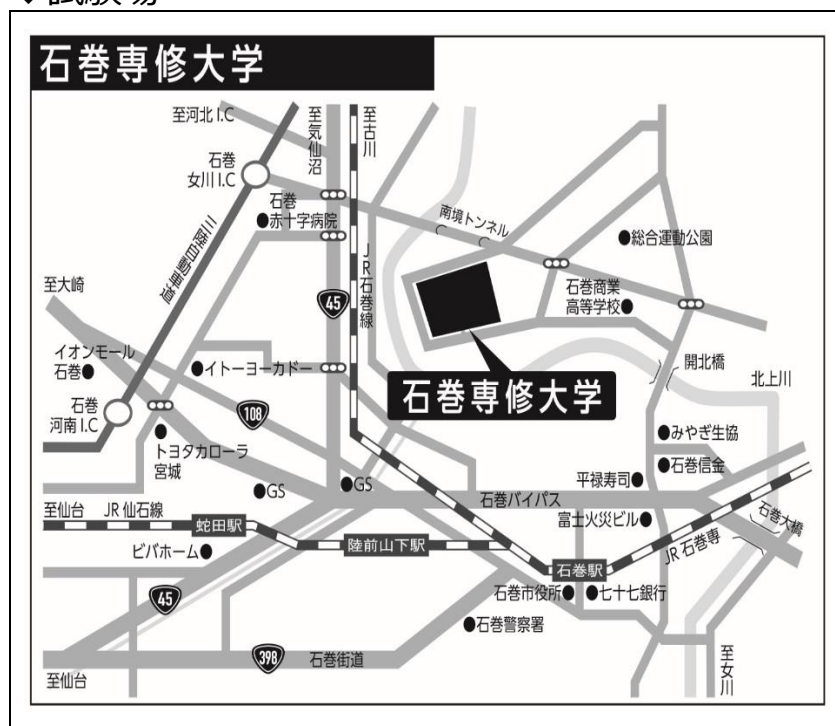
試験区分		出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間	会場
修士 博士後期	学内推薦 第Ⅰ期	6月16日(火) ～ 6月25日(木)	(面接) 7月2日(木)	7月10日(金)	9月7日(月) ～ 9月16日(水)	本学
	第Ⅰ期 学内推薦 第Ⅱ期	8月17日(月) ～ 8月21日(金)	8月27日(木)	9月4日(金)		
社会人 第Ⅰ期						
一貫教育 プログラム						
博士後期	第Ⅰ期 学内推薦 第Ⅱ期	10月16日(金) ～ 10月23日(金)	10月29日(木)	11月6日(金)	11月9日(月) ～ 11月17日(火)	
	社会人 第Ⅰ期					
	第Ⅱ期 社会人 第Ⅱ期	1月29日(金) ～ 2月5日(金)				2月10日(水)
社会人 第Ⅱ期						

注) 出願書類の受付は郵送(消印有効)または窓口とします。

注) 「一貫教育プログラム」は、「経営学部・経営学研究科 学部・大学院5年一貫教育連携プログラム」の履修者を対象とした入学試験制度です。

注) 「社会人第Ⅰ期」「社会人第Ⅱ期」には、社会人が就労しながら学修できる「社会人履修プログラム」が含まれます。

## ◆ 試験場



- JR 石巻駅から  
ミヤコーバス  
石巻駅前～石巻専修大学  
(バス約20分)
- 住所  
〒986-8580  
宮城県石巻市南境新水戸1
- 電話  
0225-22-7717

# 理 工 学 研 究 科

## (修 士 課 程)

## (博士後期課程)

### 1. 募集する研究科・専攻および人員

研究科	課 程	専 攻	募 集 人 員					
			第Ⅰ期	第Ⅱ期	学内推薦第Ⅰ期	学内推薦第Ⅱ期	社会人第Ⅰ期	社会人第Ⅱ期
理工学	修 士	物 質 工 学	3名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
		生 命 科 学	5名					
理工学	博士後期	物 質 機 能 工 学	2名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
		生 命 環 境 科 学	2名					

※「社会人第Ⅰ期」「社会人第Ⅱ期」には、社会人が就労しながら学修できる「社会人履修プログラム」が含まれます。

### 2. 出願資格

#### (1) 第Ⅰ期・第Ⅱ期入学試験

##### 修 士 課 程

次のいずれかに該当する者。

- ① 大学を卒業した者、または令和9年3月卒業見込みの者
- ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ 本大学院が個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で22歳に達した者（令和9年4月1日現在）
- ⑥ 本大学院が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑦ 外国の大学やその他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者

注) ⑤により出願を希望する者は、出願前に「出願資格認定」の申請を行ってください（7ページ参照）。

##### 博 士 後 期 課 程

次のいずれかに該当する者

- ① 修士の学位を得た者、または令和9年3月までに取得見込みの者
- ② 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ③ 外国において、修士の学位またはこれに相当する学位を得た者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ 本大学院が個別の入学資格審査により、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認められた者で24歳に達した者（令和9年4月1日現在）
- ⑥ 本大学院が修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認められた者

注) ⑤により出願を希望する者は、出願前に「出願資格認定」の申請を行ってください（7ページ参照）。

## (2) 学内推薦入学試験(第Ⅰ期・第Ⅱ期)

### 修士課程

次の全ての条件を満たしている者。(※詳細は指導教員に問い合わせること)

- ① 本大学を令和9年3月卒業見込みの者
- ② 学業成績が優秀な者
- ③ 卒業研究の指導教員、または学科主任、学部長から推薦書が得られる者

### 博士後期課程

次の全ての条件を満たしている者。

- ① 本大学大学院修士課程を令和9年3月修了見込みの者
- ② 学業成績が優秀な者
- ③ 特別演習・実験の指導教員、または専攻主任、研究科長から推薦書が得られる者

## (3) 社会人入学試験(第Ⅰ期・第Ⅱ期)

### 修士課程 博士後期課程

第Ⅰ期・第Ⅱ期入学試験の出願資格を有し、入学時において社会経験が2年以上ある者

## 3. 出願資格認定

修士課程および博士後期課程において、出願資格の(1)～(5)により出願を希望する者は、出願前に出願資格の認定審査を受けてください。

### (1) 事前相談

認定審査を希望する者は、指導を受けようとする教員と電話、E-mail等で連絡を取り、入学後の研究等について必ず相談を行ってください。

専攻分野・領域の選択など不明な点やお聞きになりたい点がある場合は、入学試験係まで問い合わせてください。

大学院入学試験係 TEL 0225-22-7717 (直通)  
E-mail nyushi@isenshu-u.ac.jp

### (2) 審査の方法

出願資格の認定審査は、出願に先立ち提出書類の審査によって行います。

### (3) 提出書類

次の書類を郵送、または持参により提出してください。なお、郵送の場合は封筒余白に「大学院出願資格認定申請書在中」と朱書きしてください。(提出書類は返しません)

- ① 出願資格認定申請書および研究業績等調書(本学所定のもの)
- ② 卒業(修了)証明書(最終学校の証明書。在学中の者は見込証明書。)
- ③ 成績証明書(最終学校または在学中の学校のもの)

### (4) 申請期間等

申請は、各入学試験制度の出願期間が始まる3週間前までに行ってください。出願資格認定審査結果は、出願期間が始まるまでに本人あてに通知します。なお、認定された者は、所定の期間内に出願手続きをしてください。

## 4. 出願方法

志望する指導教員と必ず事前に連絡を取り、研究内容について相談してください。

(問い合わせ先) 大学院入学試験係 0225-22-7717

出願に必要な書類をそろえ、入学検定料を最寄りの金融機関から振り込み、同封してある本学所定の封筒を用いて、簡易書留速達で郵送、または事務部窓口に提出してください。

(出願書類の送付先) 〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸1

石巻専修大学大学院入学試験係

## 5. 入学志願調書および A～D 票の記入上の注意

- (1) 記入は黒のボールペンで記入してください。(鉛筆不可)
- (2) ※欄は記入しないでください。

### 〔入学志願調書〕

試験区分	志望する入学試験制度を○で囲んでください。
志望研究科・志望専攻	志望する研究科、専攻を記入し、課程を○で囲んでください。「14. 研究指導系」(13 ページ) より <u>研究指導系</u> を選択し、記入してください。
志望指導教員	「15. (参考) 2026年度開講科目および担当教員」(13 ページ) の中より選択し、記入してください。志望指導教員が確定していない場合は空欄で結構です。
専門試験受験科目	①修士課程第Ⅰ期・第Ⅱ期入学試験志願者のみ記入してください。 ②専門試験科目(「9. 試験科目・時間および配点」(10 ページ) より2科目、または1科目選択)を記入してください。
氏名	記入欄の上段はカタカナ、下段は漢字で記入してください。
生年月日・年齢	生年月日は西暦で記入し、年齢は2027年5月1日現在の年齢を記入してください。
性別	該当する数字を○で囲んでください。
連絡先住所	志願者と連絡のとれる住所および電話番号(市外局番も含む)を記入してください。また、電話番号は携帯電話の場合でも記入してください。
写真	脱帽上半身正面、背景のない縦4cm、横3cmのもので、3ヵ月以内に撮影したもの。裏面に志望研究科・専攻と氏名を記入してから貼付してください。
学歴	高等学校から記入してください。大学への編入学・学士入学や大学院入学があればあわせて記入してください。大学在学中に指導を受けた教員名も記入してください。
職歴	職歴があれば記入してください。なお、社会人入学試験志願者は出願資格の社会経験について記入してください。
専攻の選択理由 および入学後の研究計画	専攻、研究指導系の選択理由および入学後の研究計画を具体的に記入してください。

### 〔 A 票 〕

志望入学試験欄は入学試験制度名を、研究科、課程、専攻、研究指導系、専門試験受験科目(2科目、または1科目記入)、氏名は〔入学志願調書〕に準じて記入してください。

また、写真は〔入学志願調書〕に貼付したものと同一の写真を貼付してください。

### 〔 B 票 〕

住所は〔入学志願調書〕の連絡先住所に準じ、志願者が受験票を受け取れる住所を記入してください。志望する入学試験制度、研究科、課程、専攻、研究指導系、氏名、専門試験受験科目(2科目、または1科目記入)は〔入学志願調書〕に準じて記入してください。

### 〔 C 票・D 票 〕

研究科・志願者氏名・住所は〔入学志願調書〕に準じて記入してください。ただし、D票太線内のシメイは、カタカナで記入してください。

#### ※確認事項

出願前にA票に金融機関の収納印があるかを確認してください。

## 6. 入学検定料

25,000円

振り込み方法は次のとおり。

令和8年度に、内閣府より「激甚災害」として指定された災害に遭い、公的機関が発行する罹災・被災証明書の提出ができる方に対し、**入学検定料を免除**します。  
申請には、公的機関が発行する罹災・被災証明書原本（コピー不可）の提出が必要となります。  
※詳細については、大学院入学試験係へお問い合わせください。

- (1) 本学所定の振込依頼書（D 票）を使用し、最寄りの金融機関から電信扱いで振り込んでください。ただし、郵便局からの振り込みはできません。
- (2) A～D 票に必要な事項を記入の上、各票とも切り離さずに金融機関の窓口へ提出してください。
- (3) 振込み後、A・B・C 票を受取り、A・C 票に金融機関の**収納印**が押されているかを確認してください。
- (4) 入学試験検定料振込金領収書（C 票）（受験生保存用）のみ切り離し、A・B 票を大学に提出してください。  
※ 一度振り込みをした入学検定料は返還できません。

## 7. 出願書類

### 修士課程

- ① 入学志願調書 記入方法は、「5.入学志願調書および A～D 票の記入上の注意」（8 ページ）参照。
- ② A ・ B 票 (本人がすべて記入し、A 票に貼付したものと同一写真を貼付してください)  
A 票に貼付する写真は、脱帽上半身正面、背景のない縦 4 cm、横 3 cm のもので、3 ヶ月以内に撮影した写真。
- ③ 卒業（見込）証明書 出身大学の卒業（見込）証明書。同様の内容が成績証明書に記載してあれば提出する必要はありません。（コピー不可・厳封不要）
- ④ 成績証明書 出身大学の成績証明書。（コピー不可・厳封不要）
- ⑤ 在留カードまたは外国人登録証明書のコピー 外国籍の者のみ、在留カードまたは外国人登録証明書の表面・裏面ともコピーを提出してください。
- ⑥ 推薦書 学内推薦入学試験志願者のみ提出してください。

注 1) 入学検定料免除に該当する場合は、罹災証明書または被災証明書の原本（コピー不可）。

注 2) 上記書類のほか社会人入学試験志願者は、所属長の推薦書（様式随意）を提出してください。

### 博士後期課程

- ① 入学志願調書 記入方法は、「5.入学志願調書および A～D 票の記入上の注意」（8 ページ）参照。
- ② A ・ B 票 (本人がすべて記入し、A 票に貼付したものと同一写真を貼付してください)  
A 票に貼付する写真は、脱帽上半身正面、背景のない縦 4 cm、横 3 cm のもので、3 ヶ月以内に撮影した写真。
- ③ 学位取得証明書又は修了見込証明書 出身大学院の発行する証明書。（コピー不可・厳封不要）
- ④ 成績証明書 出身大学院の発行する証明書。（コピー不可・厳封不要）
- ⑤ 修士論文 1 部 修士論文（コピー可）および要旨。ただし、修士論文がない場合は、これに代わる研究成果を表す論文等を提出してください。修士論文以外に研究業績がある場合は、参考資料として研究業績書（様式随意）を 1 部提出してください。
- ⑥ 在留カードまたは外国人登録証明書のコピー 外国籍の者のみ、在留カードまたは外国人登録証明書の表面・裏面ともコピーを提出してください。
- ⑦ 推薦書 学内推薦入学試験志願者のみ提出してください。

注 1) 入学検定料免除に該当する場合は、罹災証明書または被災証明書の原本（コピー不可）。

注 2) 上記書類のほか社会人入学試験志願者は、所属長の推薦書（様式随意）を提出してください。

## 8. 出願上の注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は受け付けないこともありますので、以下は特に注意してください。
- ① 入学志願調書等の記入漏れ、記入間違い。
  - ② 入学検定料の収納印漏れ。
  - ③ 必要な出願書類の不足。
- (2) 外国籍の者は、在留カードまたは外国人登録証明書記載の氏名を用いてください。なお、入学志願調書等に記載した氏名は、入学後、学籍上の氏名として扱います。
- (3) 一度受理した出願書類は返還しません。

## 9. 試験科目・時間および配点

### (1) 第Ⅰ期・第Ⅱ期入学試験

研究科	課程	専攻	試験科目	試験時間	配点
理工学	修士	物質工学	○英語(必須)…本学が用意した英和辞典を貸与します。	60分	100点
			○専門科目(次の9科目から2科目を出願時に選択し登録してください。) 数学・電磁気学・電気および電子回路・情報システム・材料力学・メカトロニクス・流体力学・熱力学・機械力学 (科目によって関数電卓の使用を許可する場合があります。)	120分	各100点
			○面接 ○書類審査		
		生命科学	○英語(必須)…本学が用意した英和辞典を貸与します。	60分	100点
			○専門科目(次の12科目から1科目を出願時に選択し登録してください。) 細胞生物学・分子生物学・生理学・生化学・海洋生物学・環境工学・生態学・系統分類学・数学・無機化学・有機化学・物理化学 (科目によって関数電卓の使用を許可する場合があります。)	60分	100点
			○面接 ○書類審査		
博士 後期	物質機能工学 生命環境科学	○英語(出願書類の審査により免除する場合があります。)	60分	100点	
		○面接 ○書類審査			

注) 面接試験は、各専攻において自分が専門的に研究しようとする分野を中心に行います。

### (2) 学内推薦入学試験(第Ⅰ期・第Ⅱ期)

研究科	課程	専攻	試験科目
理工学	修士	物質工学	○面接
		生命科学	○書類審査
博士 後期	物質機能工学 生命環境科学		○面接(口述試験とし、修士論文および研究計画に関すること)
			○書類審査

注) 面接試験は、各専攻において自分が専門的に研究しようとする分野を中心に行います。

### (3) 社会人入学試験(第Ⅰ期・第Ⅱ期)

研究科	課程	専攻	試験科目	試験時間	配点
理工学	修士	物質工学	○専門(専修学科目に関する小論文)	60分	100点
		生命科学	○面接 ○書類審査		
	博士 後期	物質機能工学	○英語(出願書類の審査により免除する場合があります。)	60分	100点
		生命環境科学	○面接(口述試験とし、修士論文および研究計画に関すること) ○書類審査		

注) 面接試験は、各専攻において自分が専門的に研究しようとする分野を中心に行います。

## 10. 試験時間割

### (1) 第Ⅰ期・第Ⅱ期入学試験

#### 修士課程

研究科	受験上の注意	英語	専門科目	面接
理工学	9:50~10:00	10:00~11:00	11:10~13:10	14:00~(予定)

注1) 筆記試験の教室は受験票に掲載します。

2) 生命科学専攻の専門科目の試験時間は11:10~12:10になります。

3) 面接については、個々の時間および会場を試験当日に表示します。

#### 博士後期課程

研究科	受験上の注意	英語	面接
理工学	9:50~10:00	10:00~11:00	11:30~(予定)

注1) 筆記試験の教室は受験票に掲載します。

2) 面接については、個々の時間および会場を試験当日に表示します。

3) 出願書類の審査により、記述試験(英語)を免除する場合があります。

### (2) 学内推薦入学試験(第Ⅰ期・第Ⅱ期)

#### 修士課程

研究科	面接
理工学	10:00~(予定)

#### 博士後期課程

研究科	面接
理工学	10:00~(予定)

注) 面接時間および会場を受験票に掲載します。

### (3) 社会人入学試験(第Ⅰ期・第Ⅱ期)

#### 修士課程

研究科	受験上の注意	論文試験	面接
理工学	9:50~10:00	10:00~11:00	11:30~(予定)

注) 試験会場は、受験票に掲載します。

## 博士後期課程

研究科	受験上の注意	英語	面接
理工学	9:50~10:00	10:00~11:00	11:30~(予定)

注1) 出願書類の審査により、記述試験(英語)を免除する場合があります。

2) 試験会場は、受験票に掲載します。

### 11. 受験上の注意

- (1) 受験生は「受験上の注意」が始まる10分前までに試験会場に入り、着席してください。
- (2) 遅刻(交通機関遅延によるものを含む)は、試験開始後15分まで認めます。
- (3) 受験票は必ず携帯し、試験中は机上に置いてください。
- (4) 外国籍の者が受験時に使用する氏名は、出願書類に記載した氏名を用いてください。

### 12. 合格発表

- (1) 合格にかかわらず本人に郵送(速達)にて通知します。(発表日から1~2日後に到着)。  
掲示発表は行いません。
- (2) 合格者には合格通知および入学手続関係書類を郵送します。  
※学内推薦第I期入学試験合格者への入学手続関係書類の発送は、9月中旬となります。
- (3) 合格についての問い合わせには一切応じられません。

### 13. 入学手続

- (1) 合格者は、学費を入学手続期限までに金融機関から振り込んだ上で、必要書類を入学手続係宛に送付してください。ただし、郵送の期限は締切日の消印があるものまでを有効とします。期限までに入学手続をしない場合は合格を取り消します。
- (2) 入学手続の際、次のものが必要となりますのであらかじめ用意してください。  
◎写真1枚(脱帽、上半身、正面、背景のない、カラー、光沢仕上げ、縦4cm、横3cmのもの  
で、3ヵ月以内に撮影したもの)

## 14. 研究指導系

### 修士課程

専攻	研究指導系
物質工学	情報工学系
	電子デバイス系
	機械システム系
生命科学	細胞・分子生物学系
	生理・生体情報学系
	海洋生物学系
	環境・生態学系
	自然科学系

### 博士後期課程

専攻	研究指導系
物質機能工学	物質・機能デバイス工学系
	機能システム工学系
	ブレイン工学系
	エネルギーシステム工学系
生命環境科学	細胞・分子生物学系
	生理・生体情報学系
	海洋生物学系
	環境・生態学系
	自然科学系

## 15. (参考) 2026年度開講科目および担当教員

理工学研究科修士課程

物質工学専攻

研究指導系	授業科目	担当教員	
情報工学系	ソフトウェア基礎科学特論	准教授 博(工)	劉 忠 達
	知能情報システム工学特論	教授 博(情報)	佐々木 慶 文
	シミュレーション情報学特論	教授 博(工)	工 藤 す ば る
	情報論理学特論	准教授 博(理)	木 村 健 司
	計算機システム工学特論	教授 博(情報)	佐々木 慶 文
	ソフトウェア工学特論	教授 博(工)	阿 部 正 英
	情報デバイス工学特論	教授 博(工)	工 藤 す ば る
	計算機援用工学特論	准教授 博(工)	武 田 翔
電子デバイス系	音響デバイス工学特論	教授 博(工)	工 藤 す ば る
	光デバイス工学特論	教授 工博	安 田 隆
	半導体デバイス工学特論	教授 工博	安 田 隆
	応用物性学特論	—	○未定
	固体物理学特論	教授 博(理)	恵 原 貴 志

研究指導系	授業科目	担当教員	
機械システム系	材料強度評価システム特論	教授 博(工)	梅山 光 広
	構造動力学特論	教授 博(工)	亀谷 裕 敬
	材料プロセス工学特論	准教授 博(工)	高橋 智
	高機能要素学特論	准教授 博(工)	高橋 智
	メカトロニクス工学特論	教授 博(工)	水野 純
	システム流体工学特論	教授 博(工)	稲毛 真 一
	エネルギーシステム工学特論	教授 工博	足立 岳 志
	熱制御工学特論	教授 博(理)	三木 寛 之
	応用熱工学特論	教授 工博	川島 純 一
理工学研究科 共通科目	無機化学特論	教授 工博	山崎 達 也
	有機化学特論	准教授 博(工)	鳴海 史 高
	応用光学特論	教授 工博	前田 敏 輝
	数理解析特論	准教授 博(理)	渡辺 正 芳
	情報数理特論	准教授 博(理)	渡辺 正 芳
他専攻科目	細胞生物学特論	教授 理博	柳 明
	分子遺伝学特論	教授 理博	阿部 知 顕
必修科目	物質工学特別研修Ⅰ・Ⅱ (情報科学、電子工学、機械工学)	専任教員	
	物質工学特別演習・実験Ⅰ・Ⅱ (情報科学、電子工学、機械工学)	専任教員	

生命科学専攻

研究指導系	授業科目	担当教員	
細胞・分子生物学系	細胞生物学特論	教授 理博	柳 明
	分子遺伝学特論	教授 理博	阿部 知 顕
	細胞組織化学特論	教授 博(農)	奈良 英 利
	遺伝子工学特論	教授 博(医)	柴田 清 孝
生理・生体情報学系	微生物生理学特論	教授 理博	宮 寄 厚
	運動生体情報学特論	教授 博(体育)	山内 武 巳
	植物発生生理学特論	准教授 博(理)	中川 爾
海洋生物学系	無脊椎動物増殖学特論	教授 博(農)	高橋 計 介
	海洋生物機能学特論	教授 博(理)	鈴木 英 勝
	海洋浮遊生物学特論	教授 博(農)	太田 尚 志
	海洋ベントス学概論	准教授 博(農)	阿部 博 和
	魚類学特論	准教授 博(水)	久米 学
	漁業生産学特論	准教授 博(水)	渡 邊 一 仁
環境・生態学系	系統分類学特論	教授 理博	根本 智 行
	森林生態学特論	教授 博(理)	依田 清 胤
	沿岸生態工学特論	教授 博(工)	玉置 仁
	動物生態学特論	准教授 博(農)	辻 大 和
自然科学系	応用反応化学特論	教授 博(工)	指方 研 二
	構造化学特論	教授 工博	山崎 達 也
	物理化学特論	教授 博(工)	指方 研 二
理工学研究科 共通科目	無機化学特論	教授 工博	山崎 達 也
	有機化学特論	准教授 博(工)	鳴海 史 高
	応用光学特論	教授 工博	前田 敏 輝
	数理解析特論	准教授 博(理)	渡辺 正 芳
	情報数理特論	准教授 博(理)	渡辺 正 芳
他専攻科目	計算機援用工学特論	准教授 博(工)	武田 翔
	ソフトウェア基礎科学特論	准教授 博(工)	劉 忠 達
	シミュレーション情報学特論	教授 博(工)	工藤 すばる
	応用物性学特論	—	○未定
必修科目	生命科学特別研修Ⅰ・Ⅱ	専任教員	
	生命科学特別演習・実験Ⅰ・Ⅱ	専任教員	

理工学研究科博士後期課程  
物質機能工学専攻

研究指導系	授業科目	担当教員	
物質・機能デバイス工学系	量子物性工学特論	—	○未定
	固体物性工学特論	教授 博(理)	恵原 貴志
	光機能材料工学特論	教授 工博	安田 隆
	半導体機能デバイス工学特論	教授 工博	安田 隆
	弾性波デバイス工学特論	教授 博(工)	工藤 すばる
	物質・機能デバイス工学セミナー	専任教員	
機能システム工学系	高機能化プロセス工学特論	—	○未定
	機能材料システム工学特論	教授 工博	足立 岳志
	高機能機械要素学特論	教授 博(工)	水野 純
	機能システム工学セミナー	専任教員	
ブレイン工学系	知的信号処理工学特論	教授 博(工)	阿部 正英
	信号処理工学特論	教授 博(工)	阿部 正英
	知能情報工学特論	教授 博(工)	工藤 すばる
	知能集積システム工学特論	教授 博(情報)	佐々木 慶文
	ブレイン工学セミナー	専任教員	
エネルギーシステム工学系	熱エネルギーシステム工学特論	教授 工博	川島 純一
	伝熱促進工学特論	教授 博(理)	三木 寛之
	流れシステム工学特論	教授 博(工)	稲毛 真一
	構造システム振動特論	教授 博(工)	亀谷 裕敬
	エネルギーシステム工学セミナー	専任教員	
必修科目	物質機能工学博士特別演習・実験	専任教員	

生命環境科学専攻

研究指導系	授業科目	担当教員	
細胞・分子生物学系	細胞進化学特論	教授 理博	柳 明
	発生遺伝学特論	教授 理博	阿部 知 顕
	比較細胞化学特論	教授 博(農)	奈良 英 利
	ゲノム工学特論	教授 博(医)	柴田 清 孝
	細胞・分子生物学セミナー	専任教員	
生理・生体情報学系	生体情報システム学特論	教授 博(体育)	山内 武 巳
	発生生理学特論	教授 理博	宮 寄 厚
	植物分子遺伝学特論	准教授 博(理)	中川 蘭
	生体情報学セミナー	専任教員	
海洋生物学系	無脊椎動物生理学特論	教授 博(農)	高橋 計 介
	海洋生物ミネラル学特論	教授 博(理)	鈴木 英 勝
	海洋浮遊生物生態学特論	教授 博(農)	太田 尚 志
	海洋多様性生物学特論	准教授 博(農)	阿部 博 和
	魚類生態学特論	准教授 博(水)	久米 学
	海業システム工学特論	准教授 博(水)	渡 邊 一 仁
	海洋生物学セミナー	専任教員	
環境・生態学系	系統進化学特論	教授 理博	根本 智 行
	植物生理生態学特論	教授 博(理)	依田 清 胤
	生態工学特論	教授 博(工)	玉置 仁
	霊長類生態学特論	准教授 博(農)	辻 大 和
	環境・生態学セミナー	専任教員	
自然科学系	精密合成化学特論	教授 博(工)	鳴海 史 高
	複合材料化学特論	教授 工博	山崎 達 也
	界面物理化学特論	教授 博(工)	指方 研 二
	応用光科学特論	教授 工博	前田 敏 輝
	応用解析学特論	准教授 博(理)	渡 辺 正 芳
	自然科学セミナー	専任教員	
必修科目	生命環境科学博士特別演習・実験	専任教員	

# 経 営 学 研 究 科

## ( 修 士 課 程 )

### ( 博 士 後 期 課 程 )

#### 1. 募集する研究科・専攻および人員

研究科	課 程	専 攻	募 集 人 員						
			第Ⅰ期	第Ⅱ期	学内推薦 第Ⅰ期	学内推薦 第Ⅱ期	社会人 第Ⅰ期	社会人 第Ⅱ期	一貫教育 プログラム
経営学	修 士	経営学	3名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	博士後期		2名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	—

注 1) 「社会人第Ⅰ期」「社会人第Ⅱ期」には、社会人が就労しながら学修できる「社会人履修プログラム」が含まれます。

2) 「一貫教育プログラム」は、「経営学部・経営学研究科 学部・大学院5年一貫教育連携プログラム」の履修者を対象とした入学試験制度です。

#### 2. 出願資格

##### (1) 第Ⅰ期・第Ⅱ期入学試験

###### 修 士 課 程

次のいずれかに該当する者。

- ① 大学を卒業した者、または令和9年3月卒業見込みの者
- ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ 本大学院が個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者（令和9年4月1日現在）
- ⑥ 本大学院が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- ⑦ 外国の大学やその他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者

注) ⑤により出願を希望する者は、出願前に「出願資格認定」の申請を行ってください（19ページ参照）。

###### 博 士 後 期 課 程

次のいずれかに該当する者。

- ① 修士の学位を得た者、または令和9年3月までに取得見込みの者
- ② 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ③ 外国において、修士の学位またはこれに相当する学位を得た者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ 本大学院が個別の入学資格審査により、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認めた者で24歳に達した者（令和9年4月1日現在）

⑥ 本大学院が修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認めた者

注) ⑤により出願を希望する者は、出願前に「出願資格認定」の申請を行ってください。(19 ページ参照)。

## (2) 学内推薦入学試験 (第Ⅰ期・第Ⅱ期)

### 修士課程

次の全ての条件を満たしている者。(※詳細は指導教員に問い合わせること)

- ① 本大学を令和9年3月卒業見込みの者
- ② 学業成績が優秀な者
- ③ ゼミナールの指導教員、または学科主任、学部長から推薦書が得られる者

### 博士後期課程

次の全ての条件を満たしている者。

- ① 本大学大学院修士課程を令和9年3月修了見込みの者
- ② 学業成績が優秀な者
- ③ 演習の指導教員、または研究科長から推薦書が得られる者

## (3) 社会人入学試験 (第Ⅰ期・第Ⅱ期)

### 修士課程 博士後期課程

第Ⅰ期・第Ⅱ期入学試験の出願資格を有し、入学時において社会経験が2年以上ある者

## (4) 一貫教育プログラム入学試験

### 修士課程

次の要件を全て満たしている者。

- ① 本学経営学部4年次に在学し、「学部大学院5年一貫教育連携プログラム」を履修していること
- ② 大学院指導教員の推薦があること
- ③ 修士論文に結び付くような卒業論文の指導が行われており、卒業論文を執筆中であること  
(出願書類に卒業論文の概要を添付してください。)
- ④ 大学院修士課程の授業科目履修状況(授業担当教員の成績表に相当する前期分の調査書)
- ⑤ 学部卒業要件を満たしていること

## 3. 出願資格認定

修士課程および博士後期課程において、出願資格の(1)～⑤により出願を希望する者は、出願前に出願資格の認定審査を受けてください。

### (1) 事前相談

認定審査を希望する者は、指導を受けようとする教員と電話、E-mail等で連絡を取り、入学後の研究等について必ず相談を行ってください。

専攻分野・領域の選択など不明な点やお聞きになりたい点がある場合は、入学試験係まで問い合わせてください。

大学院入学試験係 TEL 0225-22-7717 (直通)  
E-mail nyushi@isenshu-u.ac.jp

### (2) 審査の方法

出願資格の認定審査は、出願に先立ち提出書類の審査によって行います。

### (3) 提出書類

次の書類を郵送、または持参により提出してください。なお、郵送の場合は封筒余白に「大学院出願資格認定申請書在中」と朱書きしてください。(提出書類は返還しません)

- ① 出願資格認定申請書および研究業績等調書(本学所定のもの)
- ② 卒業(修了)証明書(最終学校の証明書。在学中の者は見込証明書。)
- ③ 成績証明書(最終学校または在学中の学校のもの)

### (4) 申請期間等

申請は、各入学試験制度の出願期間が始まる3週間前までに行ってください。出願資格認定審査結果は、

出願期間が始まるまでに本人あてに通知します。なお、認定された者は、所定の期間内に出願手続きをしてください。

#### 4. 出願方法

志望する指導教員と必ず事前に連絡を取り、研究内容について相談してください。

(問い合わせ先) 大学院入学試験係 0225-22-7717

出願に必要な書類をそろえ、入学検定料を最寄りの金融機関から振り込み、同封してある本学所定の封筒を用いて、簡易書留速達で郵送、または事務部窓口へ提出してください。

(出願書類の送付先) 〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸1

石巻専修大学大学院入学試験係

#### 5. 入学志願調書および A～D 票の記入上の注意

(1) 記入は黒のボールペンで記入してください。(鉛筆不可)

(2) ※欄は記入しないでください。

〔入学志願調書〕

試験区分 志望研究科・志望専攻	志望する入学試験制度を○で囲んでください。 志望する研究科、専攻を記入し、課程を○で囲んでください。「14. 専攻分野・授業科目」(25 ページ)の3専攻分野の中から1専攻分野を選択し、記入してください。
志望指導教員	「15. (参考) 2026年度開講科目および担当教員」(26 ページ)の演習担当教員から選択し、記入してください。
専門試験受験科目	①修士課程第Ⅰ期・第Ⅱ期入学試験志願者のみ記入してください。 ②専門試験科目(「9. 試験科目・時間および配点」(22 ページ)より1科目選択)を記入してください。
氏名 生年月日・年齢	記入欄の上段はカタカナ、下段は漢字で記入してください。 生年月日は西暦で記入し、年齢は2027年5月1日現在の年齢を記入してください。
性別 連絡先住所	該当する数字を○で囲んでください。 志願者と連絡のとれる住所および電話番号(市外局番も含む)を記入してください。また、電話番号は携帯電話の場合でも記入してください。
写真	脱帽上半身正面、背景のない縦4cm、横3cmのもので、3カ月以内に撮影したもの。裏面に志望研究科・専攻と氏名を記入してから貼付してください。
学歴	高等学校から記入してください。大学への編入学・学士入学や大学院入学があればあわせて記入してください。大学在学中に指導を受けた教員名も記入してください。
職歴	職歴があれば記入してください。なお、社会人入学試験志願者は出願資格の社会経験について記入してください。
専攻の選択理由 および入学後の研究計画	専攻分野の選択理由および入学後の研究計画を具体的に記入してください。 志望する指導教員と必ず事前に連絡をとり、研究計画について相談してください。

〔 A 票 〕

志望入学試験欄は入学試験制度名を、研究科、課程、専攻、専攻分野、専門試験受験科目、氏名は〔入学志願調書〕に準じて記入してください。

また、写真は〔入学志願調書〕に貼付したものと同一の写真を貼付してください。

〔 B 票 〕

住所は〔入学志願調書〕の連絡先住所に準じ、志願者が受験票を受け取れる住所を記入してください。

志望する入学試験制度、研究科、課程、専攻、専攻分野、氏名、専門試験受験科目は〔入学志願調書〕に準じて記入してください。

〔 C 票 ・ D 票 〕

研究科・志願者氏名・住所は〔入学志願調書〕に準じて記入してください。ただし、D票太線内のシメ

イは、カタカナで記入してください。

※確認事項

出願前にA票に金融機関の収納印があるか確認してください。

## 6. 入学検定料

**25,000円** 振り込み方法は次のとおり。

令和8年度に、内閣府より「激甚災害」として指定された災害に遭い、公的機関が発行する罹災・被災証明書の提出ができる方に対し、**入学検定料を免除**します。

申請には、公的機関が発行する罹災・被災証明書原本（コピー不可）の提出が必要となります。

※詳細については、大学院入学試験係へお問い合わせください。

- (1) 本学所定の振込依頼書（D票）を使用し、最寄りの金融機関から電信扱いで振り込んでください。ただし、郵便局からの振り込みはできません。
  - (2) A～D票に必要事項を記入の上、各票とも切り離さずに金融機関の窓口へ提出してください。
  - (3) 振り込み後、A・B・C票を受け取り、A・C票に金融機関の**収納印**があるかを確認してください。
  - (4) 入学検定料振込金領収書（C票）（受験生保存用）のみ切り離し、A・B票を大学に提出してください。
- ※ 一度振り込みをした入学検定料は返還できません。

## 7. 出願書類

### 修士課程

- ① 入学志願調書 記入方法は、「5.入学志願調書およびA～D票の記入上の注意」（20ページ）参照。  
(本人がすべて記入し、A票に貼付したものと同一写真を貼付してください)
- ② A・B票 A票に貼付する写真は、脱帽上半身正面、背景のない縦4cm、横3cmのもので3ヵ月以内に撮影した写真。
- ③ 卒業（見込）証明書 出身大学の卒業（見込）証明書。同様の内容が成績証明書に記載してあれば提出する必要はありません。（コピー不可・厳封不要）
- ④ 成績証明書 出身大学の成績証明書。（コピー不可・厳封不要）
- ⑤ 在留カードまたは外国人登録証明書のコピー 外国籍の者のみ、在留カードまたは外国人登録証明書の表面・裏面ともコピーを提出してください。
- ⑥ 推薦書 学内推薦入学試験志願者のみ提出してください。

注1) 入学検定料免除に該当する場合は、罹災証明書または被災証明書の原本（コピー不可）。

注2) 上記書類のほか社会人入学試験志願者は、所属長の推薦書(様式随意)を提出してください。

### 博士後期課程

- ① 入学志願調書 記入方法は、「5.入学志願調書およびA～D票の記入上の注意」（20ページ）参照。  
(本人がすべて記入し、A票に貼付したものと同一写真を貼付してください)
- ② A・B票 A票に貼付する写真は、脱帽上半身正面、背景のない縦4cm、横3cmのもので3ヵ月以内に撮影した写真。
- ③ 学位取得証明書又は修了見込証明書 出身大学院の発行する証明書。（コピー不可・厳封不要）
- ④ 成績証明書 出身大学院の発行する証明書。（コピー不可・厳封不要）
- ⑤ 修士論文 1部 修士論文(コピー可)および要旨。ただし、修士論文がない場合は、これに代わる研究成果を表す論文等を提出してください。修士論文以外に研究業績がある場合は、参考資料として研究業績書(様式随意)1部を提出してください。

- ⑥ 在留カードまたは 外国籍の者のみ、在留カードまたは外国人登録証明書の表面・裏面ともコピー  
外国人登録証明書のコピー を提出してください。
- ⑦ 推 薦 書 学内推薦入学試験志願者のみ提出してください。
- 注1) 入学検定料免除に該当する場合は、罹災証明書または被災証明書の原本（コピー不可）。
- 注2) 上記書類のほか社会人入学試験志願者は、所属長の推薦書(様式随意)を提出してください。

## 8. 出願上の注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は受け付けないこともありますので、以下は特に注意してください。
- ① 入学志願調書等の記入漏れ、記入間違い。
  - ② 入学検定料の収納印漏れ。
  - ③ 必要な出願書類の不足。
- (2) 外国籍の者は、在留カードまたは外国人登録証明書記載の氏名を用いてください。なお、入学志願調書等に記載した氏名は、入学後、学籍上の氏名として扱います。
- (3) 一度受理した出願書類は返還しません。

## 9. 試験科目・時間および配点

### (1) 第Ⅰ期・第Ⅱ期入学試験

研究科	課程	専攻	試 験 科 目	試験時間	配点
経営学	修士	経営学	○英語（必須）…本学が用意した英和辞典を貸与します。	30分	50点
			○小論文（必須）	30分	50点
			○専門科目（専攻する専門分野の科目から1科目を出願時に選択し登録してください。） 経営学・会計学・経営情報学	60分	100点
	博士 後期	経営学	○面接 ○書類審査		
○英語（出願書類の審査により免除する場合があります。） ○面接…口述試験とし、修士論文および研究計画に関すること。 ○書類審査			60分	100点	

### (2) 学内推薦入学試験（第Ⅰ期・第Ⅱ期）

研究科	課程	専攻	試 験 科 目
経営学	修士	経営学	○面接 ○書類審査
	博士 後期	経営学	○面接…口述試験とし、修士論文および研究計画に関すること。 ○書類審査

### (3) 社会人入学試験 (第I期・第II期)

研究科	課程	専攻	試験科目	試験時間	配点
経営学	修士	経営学	○専門…専攻しようとする専門分野に関する小論文。	60分	100点
			○面接 ○書類審査		
	博士 後期	経営学	○英語 (出願書類の審査により免除する場合があります。) (※欄外の注3を参照)	60分	100点
			○面接…口述試験とし、修士論文および研究計画に関すること。 ○書類審査		

### (4) 一貫教育プログラム入学試験

研究科	課程	専攻	試験科目
経営学	修士	経営学	○面接 ○書類審査

注1) 修士課程の英語の試験においては、本学が用意した英和辞典を貸与します。

2) 面接試験は、受験者が専攻しようとする分野を中心に行います。

3) 経営学研究科博士後期課程社会人入学試験「英語」免除の要件について

- ① 本学の大学院修士課程社会人入学試験により入学した同課程の修了者であること。
- ② 修士課程で修得した科目の平均点が80点以上であること。
- ③ 修士論文がA(80点以上)であり、指導教員の推薦が得られること。

## 10. 試験時間割

### (1) 第I期・第II期入学試験

#### 修士課程

研究科	受験上の注意	英語	小論文	専門科目	面接
経営学	9:50~10:00	10:00~10:30	10:40~11:10	11:20~12:20	13:00~(予定)

注1) 筆記試験の教室は受験票に掲載します。

2) 面接については、個々の時間および会場を試験当日に表示します。

#### 博士後期課程

研究科	受験上の注意	英語	面接
経営学	9:50~10:00	10:00~11:00	11:30~(予定)

注1) 筆記試験の教室は受験票に掲載します。

2) 面接については、個々の時間および会場を試験当日に表示します。

3) 出願書類の審査により、記述試験(英語)を免除する場合があります。

### (2) 学内推薦入学試験 (第I期・第II期)

#### 修士課程

研究科	面接
経営学	10:00~(予定)

#### 博士後期課程

研究科	面接
経営学	10:00~(予定)

注) 面接時間および場所を受験票に掲載します。

### (3) 社会人入学試験 (第Ⅰ期・第Ⅱ期)

#### 修士課程

研究科	受験上の注意	論文試験	面接
経営学	9:50~10:00	10:00~11:00	11:30~(予定)

注) 試験会場は、受験票に掲載します。

#### 博士後期課程

研究科	受験上の注意	英語	面接
経営学	9:50~10:00	10:00~11:00	11:30~(予定)

注1) 出願書類の審査により、記述試験(英語)を免除する場合があります。

2) 試験会場は、受験票に掲載します。

### (4) 一貫教育プログラム入学試験

#### 修士課程

研究科	面接
経営学	10:00~(予定)

注) 面接時間および場所を受験票に掲載します。

## 11. 受験上の注意

- (1) 受験生は「受験上の注意」が始まる10分前までに試験会場に入り、着席してください。
- (2) 遅刻(交通機関遅延によるものを含む)は、試験開始後15分まで認めます。
- (3) 受験票は必ず携帯し、試験中は机の上に置いてください。
- (4) 外国籍の者が受験時に使用する氏名は、出願書類に記載した氏名を用いてください。

## 12. 合格発表

- (1) 合格にかかわらず本人に郵送(速達)にて通知します。(発表日から1~2日後に到着)。掲示発表は行いません。
- (2) 合格者には合格通知および入学手続関係書類を郵送します。  
※学内推薦第Ⅰ期入学試験合格者への入学手続関係書類の発送は、9月中旬となります。
- (3) 合格についての問い合わせには一切応じられません。

## 13. 入学手続

- (1) 合格者は、学費を入学手続期限までに金融機関から振り込んだ上で、必要書類を入学手続係宛に送付してください。ただし、郵送の期限は締切日の消印があるものまでを有効とします。期限までに入学手続をしない場合は合格を取り消します。
- (2) 入学手続の際、次のものが必要になりますのであらかじめ用意してください。  
◎写真1枚(脱帽、上半身、正面、背景のない、カラー、光沢仕上げ、縦4cm、横3cmのもので、3ヵ月以内に撮影したもの)

#### 14. 専攻分野・授業科目（2026年度開講科目）

##### 修士課程

専攻名	専攻分野	授業科目
経営学	経営学	経営学特論
		経営管理論特論
		経営組織論特論
		マーケティング論特論
		金融論特論
		国際比較経営論特論
		地域経営論特論
		会社法特論
		経営学演習
		会計学原理特論
	会計学	管理会計論特論
		簿記論特論
		租税法特論
		会計学演習
		経営情報論特論
	経営情報学	経営統計学特論
		情報経済学特論
		情報ネットワーク論特論
		情報資源管理論特論
		シミュレーション論特論
		経営情報システム論特論
		経営情報学演習
		外国語専門文献講読
	共通	

##### 博士後期課程

専攻名	専攻分野	授業科目	
経営学	経営学	経営学特殊研究	
		経営管理論特殊研究	
		経営組織論特殊研究	
		マーケティング論特殊研究	
		国際比較経営論特殊研究	
		地域経営論特殊研究	
		会社法特殊研究	
		経営学演習	
		会計学原理特殊研究	
		会計学	簿記原理特殊研究
	租税法特殊研究		
	会計学演習		
	経営統計学特殊研究		
	情報ネットワーク論特殊研究		
	経営情報学	情報資源管理論特殊研究	
		シミュレーション論特殊研究	
		経営情報学演習	
		外国語専門文献研究	
		共通	

## 15. (参考)2026 年度開講科目および担当教員

経営学研究科修士課程

経営学専攻

専攻分野	授業科目	担当教員	
経営学	経営学特論	教授 博(経営学)	工藤周平
	経営管理論特論	准教授 博(スポーツ健康科学)	稲葉健太郎
	経営組織論特論	教授	杉田博
	マーケティング論特論	教授 博(経営学)	李東勲
	国際比較経営論特論	教授 博(国関論)	丸岡泰
	地域経営論特論	教授 博(経済学)	庄子真岐
	会社法特論	教授	三森敏正
	経営学演習	専任教員	
会計学	会計学原理特論	教授	関根慎吾
	管理会計論特論	准教授 博(経営学)	田村真介
	簿記論特論	教授	関根慎吾
	租税法特論	教授 博(経営学)	岡野知子
	会計学演習	専任教員	
経営情報学	経営情報論特論	—	○未定
	経営統計学特論	教授 博(スポーツ健康科学)	岩浅巧
	情報経済学特論	准教授 博(スポーツ健康科学)	稲葉健太郎
	情報ネットワーク論特論	—	○未定
	情報資源管理論特論	教授 博(経営学)	工藤周平
	シミュレーション論特論	—	○未定
	経営情報システム論特論	教授 博(スポーツ健康科学)	岩浅巧
	経営情報学演習	専任教員	
共通	外国語専門文献講読	教授 博(国関論)	丸岡泰

演習担当教員

李東勲	稲葉健太郎	岩浅巧	岡野知子	工藤周平	庄子真岐
杉田博	関根慎吾	田村真介	丸岡泰	三森敏正	

経営学研究科博士後期課程

経営学専攻

専攻分野	授業科目	担当教員	
経営学	経営学特殊研究	教授 博(経営学)	工藤周平
	経営管理論特殊研究	教授	杉田博
	経営組織論特殊研究	教授	杉田博
	マーケティング論特殊研究	教授 博(経営学)	李東勲
	国際比較経営論特殊研究	教授 博(国関論)	丸岡泰
	地域経営論特殊研究	教授 博(経済学)	庄子真岐
	会社法特殊研究	教授	三森敏正
	経営学演習	専任教員	
会計学	会計学原理特殊研究	教授	関根慎吾
	簿記原理特殊研究	教授	関根慎吾
	租税法特殊研究	教授 博(経営学)	岡野知子
	会計学演習	専任教員	
経営情報学	経営統計学特殊研究	教授 博(スポーツ健康科学)	岩浅巧
	情報ネットワーク論特殊研究	—	○未定
	情報資源管理論特殊研究	教授 博(経営学)	工藤周平
	シミュレーション論特殊研究	—	○未定
	経営情報学演習	専任教員	
共通	外国語専門文献研究	教授 博(国関論)	丸岡泰

演習担当教員

李東勲	岡野知子	工藤周平	庄子真岐	杉田博	関根慎吾
丸岡泰	三森敏正				

# 共 通

……学費（参考 = 令和 8 年度現行）……

## 修士課程

(単位：円)

項目	区分	本学卒業者		他大学卒業者	
		理工学研究科	経営学研究科	理工学研究科	経営学研究科
入 学 金		0	0	★ 200,000	★ 200,000
授 業 料 (分納 I 期分)		500,000 (125,000)	350,000 (89,000)	500,000 (125,000)	350,000 (89,000)
施 設 費 (分納 I 期分)		260,000 (65,000)	210,000 (54,000)	260,000 (65,000)	210,000 (54,000)
教 育 充 実 費 (分納 I 期分)		83,000 (23,000)	23,000 (8,000)	83,000 (23,000)	23,000 (8,000)
委託徴収金	校友会入会金	0	0	★ 10,000	★ 10,000
合 計 ( 完 納 )		843,000	583,000	1,053,000	793,000
入学手続時(分納 I 期分)		213,000	151,000	423,000	361,000
分 納 II 期 分		210,000	144,000	210,000	144,000
分 納 III 期 分		210,000	144,000	210,000	144,000
分 納 IV 期 分		210,000	144,000	210,000	144,000

(1) 学費の納入方法は、完納（一括払い）、または4期分納があります。

① 学費の納入期限日および納入額は、次のとおりとなっています。

- ・ 入学手続時 完納、または分納 I 期分として、授業料・施設費・教育充実費の 1 / 4 相当額とその他の学費（全額）
- ・ 第 II 期 6 月 2 0 日 授業料・施設費・教育充実費の 1 / 4 相当額
- ・ 第 III 期 9 月 2 0 日 授業料・施設費・教育充実費の 1 / 4 相当額
- ・ 第 IV 期 1 1 月 2 0 日 授業料・施設費・教育充実費の 1 / 4 相当額

※学費を4期に分けた場合、1, 0 0 0 円未満の端数は I 期分に加算します。

※納入期限日が銀行休業日にあたる場合は、前営業日が期限日となります。

- ② 分納 I 期分で入学手続をした場合は、II・III・IV期分の学費振込用紙を、5月下旬に郵送します。
- ③ ★印は、2年次以降納入する必要はありません。
- ④ 2年次の学費（授業料・施設費・教育充実費）は1年次と同額になります。
- ⑤ 委託徴収金は、改定する場合があります。

(2) 本学卒業者には、本法人が設置する大学・短期大学の卒業者および大学院の修了者を含みます。

### 専修大学・石巻専修大学「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」推進募金について(お願い)

学校法人専修大学は 21 世紀ビジョンとして「社会知性の開発」を掲げています。募金を通じて社会知性の開発を推進していくため、専修大学・石巻専修大学「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」推進募金の募集を広く関係方面にお願いし、お力添えをいただいているところでございます。

入学者のご父母・保護者におかれましても、趣旨にご賛同いただき、任意ではございますが、ご協力をお願い申し上げます。なお募集時期につきましては入学後にご案内させていただきます。

## 博士後期課程

(単位：円)

項目	区分	本学卒業者		他大学卒業者	
		理工学研究科	経営学研究科	理工学研究科	経営学研究科
入学金		0	0	★ 200,000	★ 200,000
授業料 (分納Ⅰ期分)		400,000 (100,000)	300,000 (75,000)	400,000 (100,000)	300,000 (75,000)
施設費 (分納Ⅰ期分)		180,000 (45,000)	130,000 (34,000)	180,000 (45,000)	130,000 (34,000)
教育充実費 (分納Ⅰ期分)		83,000 (23,000)	23,000 (8,000)	83,000 (23,000)	23,000 (8,000)
委託徴収金	校友会入会金	0	0	★ 10,000	★ 10,000
合計(完納)		663,000	453,000	873,000	663,000
入学手続時(分納Ⅰ期分)		168,000	117,000	378,000	327,000
分納Ⅱ期分		165,000	112,000	165,000	112,000
分納Ⅲ期分		165,000	112,000	165,000	112,000
分納Ⅳ期分		165,000	112,000	165,000	112,000

(1) 学費の納入方法は、完納(一括払い)、または4期分納があります。

① 学費の納入期限日および納入額は、次のとおりとなっています。

・入学手続時 完納、または分納Ⅰ期分として、授業料・施設費・教育充実費の1/4相当額とその他の学費(全額)

・第Ⅱ期 6月20日 授業料・施設費・教育充実費の1/4相当額

・第Ⅲ期 9月20日 授業料・施設費・教育充実費の1/4相当額

・第Ⅳ期 11月20日 授業料・施設費・教育充実費の1/4相当額

※学費を4期に分けた場合、1,000円未満の端数はⅠ期分に加算します。

※納入期限日が銀行休業日にあたる場合は、前営業日が期限日となります。

② 分納Ⅰ期分で入学手続をした場合は、Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ期分の学費振込用紙を、5月下旬に郵送します。

③ ★印は、2年次以降納入する必要はありません。

④ 2～3年次の学費(授業料・施設費・教育充実費)は1年次と同額になります。

⑤ 委託徴収金は、改定する場合があります。

(2) 本学卒業者には、本法人が設置する大学の学部卒業者および同修士課程修了者を含みます。

### ……貸与奨学生……

#### ○独立行政法人日本学生支援機構

日本学生支援機構より貸与される奨学金です。入学後の募集については、大学よりお知らせします。

(「日本学生支援機構」ホームページ参照)

#### ○地方自治体奨学金

各地方自治体で募集しているものです。各自治体に直接お問い合わせください。

#### ○民間団体の奨学生

各種団体がそれぞれの目的を持って奨学金を貸与・給付しています。各種団体より大学に連絡があった場合、学内掲示にてお知らせします。

……石巻専修大学大学院奨学生……

石巻専修大学大学院には、学術研究の奨励や家計困窮度の高い在学生へ経済支援を目的に給付する次の奨学金制度があります。

名 称	採用期間および給付額	資 格
修士課程新入生 特別奨学生	2年間 理工学研究科 22万円 経営学研究科 15万円	修士課程1年次入学者であって、人物に優れ入学試験の成績等および学部の学業成績が特に優秀なもの。対象とする入学試験は、学内推薦第Ⅰ期を優先とし、採用人数に満たない場合は他の入学試験制度での採用も可とする。
博士後期課程 新入生特別奨学生	3年間 理工学研究科 17万円 経営学研究科 12万円	博士後期課程1年次入学者であって、人物に優れ入学試験の成績、修士課程の学業成績、修士論文等が特に優秀なもの。対象とする入学試験は、学内推薦第Ⅰ期を優先とし、採用人数に満たない場合は他の入学試験制度での採用も可とする。
研究活動支援 奨学生 A	当該年度 海外での学会発表：10万円を限度 国内学会発表会：5万円を限度	在学生であって、人物に優れ勉学に意欲的に取り組み、国内外の学会発表等を行うもの。
研究活動支援 奨学生 B	当該年度 10万円を限度	在学生であって、人物に優れ勉学に意欲的に取り組み、優れた研究成果等を上げたもの。
経済支援奨学生	当該年度 10万円を限度	在学生であって、勉学意欲があるにもかかわらず、経済的理由により修学の継続が困難なもの。
家計急変奨学生	当該年度 授業料の半額相当額を限度とし、家計急変の状況に応じて支給額を定める。	在学生であって、勉学意欲があるにもかかわらず、主たる家計支持者の死亡、失職等による経済的理由により、修学の継続が著しく困難なもの。
災害見舞奨学生	当該年度 20万円を限度	在学生であって、火災、風水害、地震等により被災し、経済的困窮度の高いもの。
私費外国人 留学生奨学生	当該年度 理工学研究科修士課程 30万円 経営学研究科修士課程 20万円 理工学研究科博士後期課程 25万円 経営学研究科博士後期課程 15万円	本大学院の私費外国人留学生であって、勉学意欲があるにもかかわらず、経済的理由により修学の継続が困難なもの。

※修士課程および博士後期課程の新入生特別奨学生の候補者には、合格発表時にその旨を通知します。

……国の教育ローン……

○日本政策金融公庫

入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。1人につき**450万円以内**を、固定金利(年2.40%(令和8年5月1日現在))で利用でき、在学期間内は利息のみのご返済とすることができます。詳しくは、「国の教育ローン」で検索していただくか、下記のコールセンターへお問い合わせください。

〔教育ローンコールセンター〕 **0570-008656** (ナビダイヤル) または (03) 5321-8656

……提携学費ローン……

○(株)セディナ

入学予定者を対象に、三井住友フィナンシャルグループである株式会社セディナによる一般の教育ローンよりも有利な「学費ローン」を提携しています。

〔問い合わせ先〕 セディナカスタマーセンター フリーダイヤル 0120-686-909

〔受付時間〕 9:30~17:00 (土、日、祝日を除く)



## **石巻専修大学大学院入試係**

**〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸 1**

**TEL (0225)22-7717**

**FAX (0225)22-7809**